十勝毎日新聞

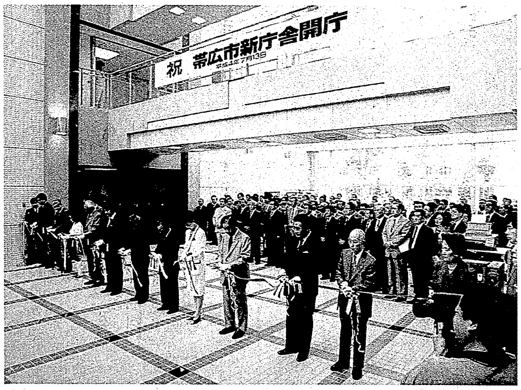
発行所
十勝毎日新聞社
〒080 帯広市東1条南8丁目
電話＝編集☎2121、広告☎2323、総務・販売☎2222

©十勝毎日新聞社 1992

市役所新庁舎オープン

80億円の〝市民の城〟

田本前市長もテープカット



市民の新しい城のオープンを、テープカットで祝う式典参加者＝一階市民ホール

二十一世紀に向けたマチづくりと市民福祉の拠点になる帯広市役所新庁舎は、十三日午前八時四十分からオープニングセレモニーが行われ、業務がスタートした。住民票などの手続きに訪れた市民は、早速、真新しいカウンターに向かうとともに、十一階の展望ホールなどを見学。八十億円かかった「市民の城」の様子を確かめていた。

（17面に関連記事）

地下1地上12階　十勝一のノッポ

前庁舎の老朽化、分散による不便解消のため平成二年十一月に着工した新庁舎は地下一階、地上十二階の高層棟、地上四階の低層棟からなり、延べ床面積は二万四千九百七十一平方㍍。高さ五十二㍍の十勝一高いビルで総事業費は七十九億六千万円。

市民が利用しやすいよう窓口を一、二階に集め身障者用に段差解消、玄関チャイム、ローカウンターなどを採用。市民開放を目指して一階に市民ホール、十一階に展望ホールを設置。全階に光ケーブルを敷設し、ソフト面でもフリーアドレス制などを採用したOA対応の近代的庁舎に生まれ変わった。

十一月中旬に終了する外構工事、駐車場、正面玄関を除いて完成し、十日から十二日まで移転作業が行われた。

一階の市民ホールで行われた開庁セレモニーでは、高橋幹夫市長、田本憲吾前市長、岡田肇市議会議長、中川昭一、鈴木宗男（代理・典子夫人）両代議士、子供会代表の菅原瞳ちゃん（帯広小六年）ら十二人がテープカット。

高橋市長は「生みの親の田本前市長をはじめ多くの方の尽力で立派な庁舎が完成した。市民のサービスセンターにふさわしくなるよう、気持ちを一新して市民福祉向上のために職員一丸で頑張りたい」とあいさつ。岡田議長は「議会としても感激深い。建物にふさわしい仕事を望むとともに、職員、議員が力を合わせて十七万市民のために努力したい」と祝辞を述べた。

松本道子モダンダンスによる舞が披露されたあと、百八十人の招待者たちは、庁舎内を見て回った。

士幌停車場線を拡幅

マイウェイ事業　帯土現が指定要望

商店街近代化と連動目指す

帯広土木現業所は来年度予算に、士幌町商店街が並ぶ道道士幌停車場線の「マイウェイ・アワーロード事業」指定を要望する。現道を五㍍拡幅、カラーブロック化して商店街の近代化と連動する。すでに指定を受けている「士幌ふれあいの道」（道道本別新得線）も十二月に完成予定、町内を走る主要街路の整備が一層進むことになる。

周辺景観と調和した道路整備を進めるこの事業は管内では「士幌ふれあいの道」のほか、中札内停車場線（中札内村）や尾田豊頃線（豊頃町茂岩）など五カ所が指定を受けている。

道道士幌停車場線は士幌中心部を走るメーン街路で、ふれあいの道に通じる。町ではふれあいの道が十二月に完成し、地元商店街も近代化を計画していることから、士幌停車場線の拡幅を要望していた。

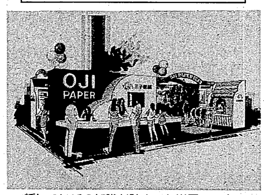
要望区間は、本別新得線交差点から八百㍍。計画では商店街を〇・五㍍程度セットバックし、現行十三㍍（車道幅九㍍、両側歩道四㍍）を十八㍍（車道九㍍、両側歩道九㍍）に拡幅する。基本的には本別新得線と同じ整備で、広めの歩道はカラーブロック化しデザイン照明を設置する。

総事業費は約十五億円、平成八年度の完成を目指す。なお「士幌町市街地商店街近代化協議会」では、商店街の近代化素案をまとめており、来年以降、街路整備との調整作業に取りかかる。

小林レンタカー・ダンプ・ユニック・バン 0155（56）5858

王子製紙

紙のいろいろを紹介


紙についての知識が詰まった出展コーナー

「この身近な一枚から」をテーマに、紙のいろいろな性格や表情を展示して紹介する。「最近盛んにいわれている資源（緑）の保護と有効利用を、紙を通して広く来場者にアピールしたい」（札幌営業所）と強調している。

具体的に挙げると「緑の有効活用」のコーナーでは再生紙にターゲットを絞り、実際に再生紙を展示して古紙から再生紙ができるまでの工程を分かりやすくパネルで紹介する。また、世界の古紙再生率の違いも表示し、再生利用の重要性を訴えていく。

アトラクションの「紙と遊ぼう」では、手すきはがき作りの実演が行われるほか、いろいろな紙の種類、特徴を学べるよう工夫されている。

また、同社がバイテク技術で開発、一年に四㍍伸びるといわれている「北海ポプラ」の紹介も目玉の一つ。生長の足跡をたどるとともに、これを原料にした牛の飼料も展示される。

企業からの提案

「緑の産業とくらし館」紹介

みどりいむ'92

▶5◀

日本罐詰

スイートコーンタワー

スイートコーンのパネルが楽しみな日本罐詰

「スイートコーンが十勝の初秋に実りをもたらす。その実りをハーベスターが次々に刈り取ってゆく」ー。こんな光景を写し出した大きな写真パネルが来場者を迎える。日本罐詰の展示は「気持ちをこめて大自然を、故郷の大地からおとどけします」を基本に組み立てている。

パネルでは収穫のほか、工場での加工処理や出荷作業の様子も紹介する。ビデオの放映もあり、は種から収穫、工場作業、出荷に至る工程を見ることができる。

ほ場での撮影はパネル、ビデオとも十勝の芽室町。高さ十一㍍、直径八㌢のスイートコーン缶を百八十六個用いてスイートコーンを作ったタワーも面白い。子供たちには、貯金缶のプレゼントもある。上ぶたのない缶のその場でふたを付けてくれる。側面でみどりいむキャラクターの「みどらちゃん」と「りゅう太くん」が踊り、貯金するのが楽しくなりそう。

カルビーポテト

サイコロゲーム

さいころゲームを楽しめるカルビーポテト

訪れた人に楽しみを提供するのがゲーム。スポンジ型のサイコロを三回振ると、その一振りごとに〝ストーリー〟が展開していくというもので、「明るい」「楽しい」「健康的」「創造的」という同社イメージにぴったりだ。

例えば一回目が「三」なら「恐竜カードを」の意味。二回目が「一」なら「五つ」の意味、最後が「六」なら「次の人にあげる」となり、この三つの意味を組み合わせて「恐竜カードを五つ次の人にあげる」という結論になる。

もちろん、さいころを振る人がもらえる場合もある。恐竜カードのほかに、ポテトチップスやポテトスティックがもらえる。目が出るごとに、振る人も会場の人も一喜一憂しそうだ。

みどりいむ会場を歩き疲れておなかをすかせた人には、ポテトスティックを揚げる香りが胃袋を刺激する。チャリティーで百円。（おわり）

来月1日に農業シンポ

ステーツフェア協賛　〝おいしさ〟テーマに

消費者重視、質重視の農業はどうあるべきかーをテーマに十勝毎日新聞社、十勝農協連共催の十勝ステーツフェア協賛シンポジウム「おいしさづくりへのメッセージ」が、八月一日午後一時から帯広市内の十勝農協連ビルで開かれる。農業試験場、大学、外食産業から講師を招き、おいしさや風味、品質を高める生産の在り方を考える。

「飽食の時代」を迎え、食生活は単に「腹を満たせばよい」時代から高品質、高栄養価、新鮮、安全、少量多品目へと消費者ニーズが変化。また外食産業の発展によって、外食ニーズに合わせた品種開発、生産技術の改良も急務になっている。

そこで、十勝毎日新聞社は名実ともに十勝が食べ物の情報発信基地となることを願って「品質、味重視の生産への転換」をスローガンにシンポジウムを開催、「おいしさづくり」農業の必要性をアピールする。

講師は道立中央農業試験場企画情報室長の相馬暁氏、女子栄養大学（埼玉県）教授の吉田企世子氏、びっくりドンキーのアレフ商品部長の吉田慎一氏。相馬氏は「豊かな食卓を支える農産物」をテーマに品質アップへの具体策を、吉田企世子氏は「栄養からのアプローチ」と題して栄養と品質の関係を、吉田慎一氏は「役立ち競争」をテーマに外食産業側から将来の十勝農業を提案する。

受講は無料で、定員は三百五十人。今月二十日から十勝毎日新聞社一階窓口、町村の各勝毎販売所、十勝農協連企画室で整理券を配布する。

相馬　暁氏

吉田企世子氏

吉田　慎一氏

講師の略歴

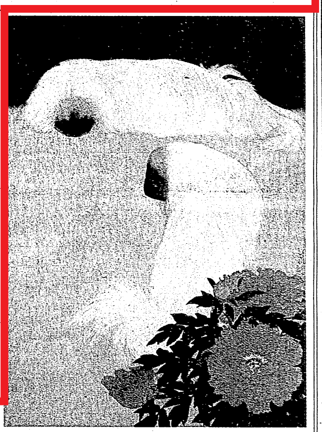
【相馬暁氏】昭和十六年生まれ。北大農学部大学院修士課程修了。昭和四十四年から試験場に勤務、六十一ー六十二年に十勝農試土壌肥料科長。中央農試農産化学科長などを経て今年から現職。

【吉田企世子氏】昭和九年生まれ。日本女子大大学院修士課程（食物栄養学専攻）修了。東大で学位を取得、女子栄養大の講師、助教授を経て平成元年から教授。

【吉田慎一氏】昭和三十一年生まれ。東洋大経済学部を卒業、五十四年にアレフ入社。店舗、工場勤務のあと、六十二年から現職。

山種コレクション　緑の景（けしき）

日本画の巨匠たち展から　＝3＝



岩橋英遠「双狗」

山種美術館開館10周年記念展の出品作。2匹の犬と牡丹（ぼたん）の配置、背景の茶の濃淡など計算し尽くされた作品だ（1976年）

▽会期　8月14日（金）ー9月15日（火）。月曜日休館。午前10時ー午後5時。
▽会場　北海道立帯広美術館（帯広市緑ケ丘公園内）
▽観覧料　一般八〇〇円（前売り、団体六〇〇円）、高校・大学生六〇〇円（同四〇〇円）、小・中学生三〇〇円（同二〇〇円）

五ケ瀬訪問少年少女使節団員決まる

30日に出発

【新得】新得町の姉妹町、宮崎県五ケ瀬町を訪問する今年の少年少女使節団員が決まった。今年は三十日から八月四日にかけて五ケ瀬町などを訪問、姉妹町の子供たちと交流する。一行は次の小学生九人、中学生六人と引率者二人の計十七人。（敬称略）

▽団長＝武田敏英（屈足南小校長）▽団員＝本間智代里、板垣華（以上新得中三年）高橋真理（同一年）新国あゆ子、佐々木麻衣（以上屈足中三年）浅野晴俊（富村牛中二年）石井隆雄、渡部清孝（以上新得小六年）杉目恒志、菊地淑子（以上同五年）若原篤（佐幌小六年）吉田知央（上佐幌小六年）大井啓安（屈足南小六年）鵜沼勇介（同五年）三部正人（屈足小六年）▽引率者＝小森俊雄（新得町教育委員会生涯学習課長）

都市間バス 旭川へ。拓殖バス 31-8811

編集余録

心太

トコロテンと読む。天草（てんぐさ）という海草よりつくった食品である。石花菜（せっかさい）ともいう。天草は海産の紅藻（にも）で、干潮線付近の岩の上などに着生する。革質で弾性があり、扁平な細線状をしていて、羽状に分岐し、紅紫色総状をしている。

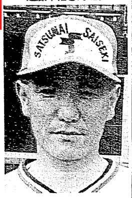
主産地は、安房、相模、伊豆、伊勢、志摩、紀伊、能登、日向などである。採取は大部分が潜水による海女（あま）の作業で、毎年盛夏がかき入れどきである。採取した天草はいったん乾燥し漂白して、晒（さら）しテングサとして市場に出し、さらに煮溶（と）かしてトコロテン、寒天を作るわけだ▼寒天には角寒天と細寒天がある。角寒天は帯白色半透明で光沢がある。稜角（りょうかく）が崩れず、シワがちいさく、軽くて弾力のあるものが良質とされており、羊かん、ジャム、ゼリー、その他の菓子材料として重用される▼夏には欠かせない涼味豊かな水羊かんは小豆（あずき）あんと寒天で作るが、寒天の量を少なくして、柔らかく作った羊かんである。口に入れて溶けるような味が珍重される▼蜜豆（みつまめ）はサイの目に切った寒天に、茹（ゆ）でたエンドウ、求肥（ぎゅうひ）などを添えて蜜をかけたもの。これにあんこを加えたのが〝あん蜜〟で、パイナップルやミカン、イチゴなどを加えたのがフルーツ蜜豆である。

マクサとかトコロテングサともいう▼寒天を煮て、平面な容器に入れて冷やし、凝結（ぎょうけつ）すれば突出具に納まるほどの大きさに切断し、氷で冷やしそのちいさな長方形の〈心太〉をひとつひとつ突出具に入れて突き出す。酢じょうゆをかけて食べる。盛夏には欠かせない日本特産の食べものだ▼〈心太〉をもともとは和名で〝こるもは〟とか〝こころぶと〟という。これは、煮ると凝（こ）るからそういうらしい。ココロモをコモブと訛（なま）り、〈心太〉の二字を用いた。ココロブトを訛ってココロテイ、それがさらに訛ってココロテン、さらにトコロテンになったという▼天草の原料だ。（Z）

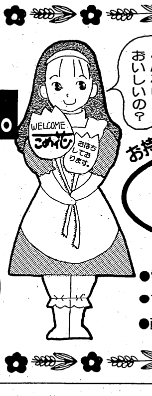
本日の紙面
2面　帯広で北海道整形災害外科学会
3面　アイスクリーム「カウベル」発売
14面（封）士幌高原のミズナラ保存へ
15面　ジャガイモの花見スナップ
17面　OCTVが来月29日に料理教室
7面　なんでも広場
10面　健康マラソングラフ

長寿・福寿の 百代餅（ももよもち） 北の自然菓・帯広 柳月

高松宮杯野球V
札内鉾石砂利監督の遠藤年裕さん（13面）



◁小4〜中3▷ 夏期講習生募集中!
少人数制 コンピューターによる学習
個性を大切にする進学塾
セイコーCAIスクール
帯広本部 帯広市西8南18 ☎24-3731
・東スクール・緑ケ丘スクール・若葉スクール・西スクール



十勝で初めて！
持ち帰り専門のお米屋さん。
（つきたてだから、いつも新鮮）
お持ち帰り価格
●新潟コシヒカリ（10kg）5,280円
●A地区きらら397（10kg）4,270円
●宮城ササニシキ（10kg）4,680円
●秋田こまち（10kg）4,880円
（税別）
贈答承ります
おこめ 知事許可販売店 許可番号 第3号 第44号 第40号
お持ち帰り専門のお米やさん
KOME-HANA こめ花
＜年中無休／AM9:00〜PM8:00＞
●電信通り店　東4条南5丁目（電信通り）☎0120-25-5870
●フクハラ店　フクハラ東2条店内（まるせん）☎22-5341
●西3条店　西3条南11丁目1（六花亭横前）☎24-4246

幸せの日、決めました。
'92秋のブライダルフェア
8月2日日
AM10:00〜PM7:00
2階グランドホール
●主催／帯広グランドホテル
●共催／ブライダルまり子
●協賛／JTB帯広支店
ブライダルをトータルでお引き受けする、グランドホテルならではのブライダルフェアを、お楽しみください。
◆新婚旅行特別ご相談会
当日会場にてハネムーンお申し込みの方には、それなりの豪華景品をプレゼントします。（JTB帯広支店）
◆秋のご婚礼衣裳展示会
（グランドホテル衣裳室）
◆ご婚礼ご予約承り中
ご婚礼ご宴会予約専用 ☎0155-25-5500
＜特典＞
①披露宴当日ご宿泊プレゼント
②ご結婚一周年記念ディナーご招待
③お二人のソフトポートレートプレゼント
④ご婚礼出席者宿泊30%割引
⑤挙式用白無垢衣裳サービス
⑥写真撮影用白無垢又は色ドレスサービス
心に残る結婚式をお約束します。
政府登録国際観光ホテル・日本ホテル協会会員
帯広グランドホテル
帯広市西2条南7丁目 ☎0155-22-4181（代表）